

東大阪市は甲南大学と連携し、古文書などの史料の調査整理を進め、その成果をみなさまにご紹介し、東大阪市の魅力を知っていただく取り組みを進めています。

今回は、『殿様・将軍の死と地域社会の対応』『江戸時代における幕領代官の支配』をテーマに講演を行います。

古文書から広がる歴史の時空を一緒に共有しませんか。



2021年 **9/26 (日)**

14:00-16:30 (開場 13:30)



- **場所:** 東大阪市立埋蔵文化財センター「発掘ふれあい館」視聴覚室
- **定員:** 40名 (申込み先着順) 申込期間8/16~9/3。定員になり次第締め切ります

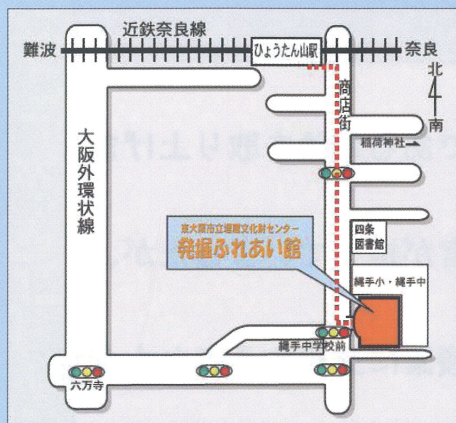
【お申し込み方法】

文化財課 (下記) まで、電話、FAX、電子メールのいずれかでお申し込みください。

FAX、電子メールの場合は

①お名前②ご住所③日中連絡先 (電話、FAX、電子メール) を明記のうえ、送信してください。

お申込み後、3日 (土日祝除く) 過ぎても連絡がない場合は、お手数ですが、お問合せください。



近鉄瓢箪(ひょうたん)山駅下車南へ徒歩 10分(700m)

- コロナウイルス感染対策のため、必ずマスクを着用のうえ、ご参加ください。
- 手話通訳のご希望の方は9/3(金)までに文化財課へ FAX にてご連絡ください。
- 駐車場には限りがあるため、公共交通機関をご利用ください。
- 対面での開催ができない場合、申込者のうち希望者にオンライン (Zoom) にて配信いたします。

お殿様の死…
お代官様の交代…
そのとき、村はどうしたのか。



【主 催】 東大阪市・甲南大学

【申込み・問合わせ】 東大阪市人権文化部文化室文化財課 (月~金 9:00-17:30)

電話 06-4309-3283 FAX 06-4309-3823

電子メール bunkazai@city.higashiosaka.lg.jp

文化財課 Web サイト



プログラム

(内容や順番等に変更する場合があります)

第1部 14:10~15:10

殿様・将軍の死と地域社会の対応

—祈願・自肅・服喪などをめぐって—

東谷 智 (甲南大学文学部歴史文化学科教授、歴史文化研究センター研究代表者)

江戸時代の人々は、自分たちの領主が死去すると、どういった対応を取るのだろうか。

河内国若江郡・渋江郡にあった淀藩領村々に残る触留帳などの史料から地域の対応をお話します。

また、同地域が将軍死去時にとった対応との比較もお話します。

第2部 15:20~16:20

江戸時代における幕領代官の支配

尾崎 真理(大阪大学適塾記念センター特任助教)

今回の講座では、江戸時代の村のなかでも幕府直轄領である幕領を取り上げます。

幕領は全国に散在し、その支配は各地に配置された代官が担っていましたが、地域を支配する代官は頻繁に交代していました。

今回は幕領の村の文書を読み解きながら、なぜ代官が頻繁に交代するのかも含めて、江戸時代の代官支配についてお話します。

【訂正】第1部講演「殿様・将軍の死と地域社会の対応」の概要説明に訂正がございます。

3行目 (誤) 河内国若江郡・渋江郡 → (正) 河内国若江郡・渋川郡